

ダイヤモンド就活ナビ2019 就職モニターレポート1月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2019年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 1,203名
- ◆調査期間 2018年1月11日（木）～2017年1月18日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	873名 (72.6%)	理系	330名 (27.4%)
----	-----------------	----	-----------------

【大学エリア別回答学生数】

北海道	65名	5.4%
東北エリア	22名	1.8%
関東エリア	604名	50.2%
甲信越エリア	27名	2.2%
東海・北陸エリア	127名	10.6%
関西エリア	212名	17.6%
中国・四国エリア	106名	8.8%
九州・沖縄エリア	40名	3.3%

◆TOPICS◆

<インターンシップ参加状況>

インターンシップ参加率は65.2%。参加の理由は「就職活動に有利」が63.8%でトップ。参加社数は「1社」が30.5%、参加日数は「1日」が62.2%でそれぞれトップ。参加しなかった理由の1位は「日程が合わなかった」（63.2%）。「選考・抽選に漏れた」も24.0%。

<インターンシップの感想>

企業への印象は「その企業で働きたいと思った」が65.1%。参加してよかった点は「仕事内容を具体的に知ることができた」が75.2%でトップ。

<就職活動観>

「苦戦するかもしれない」が57.4%と過半数を占める。約8割が漠然とでも「志望業界を決定している」と回答。「大手志向」が45.8%に。「やりがい、適性が合えば企業規模不問」は36.9%にとどまる。企業を選ぶ基準は「仕事に魅力を感じる」54.9%、「社風がよい」54.5%。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

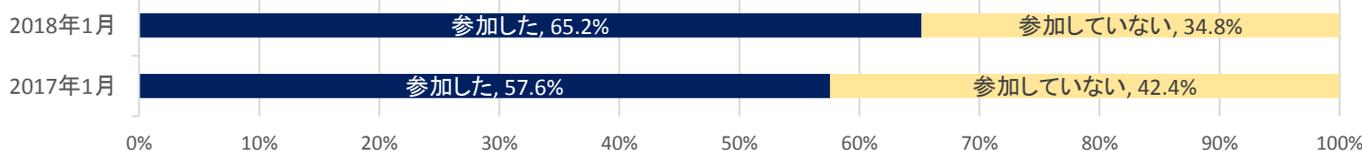
新卒メディア事業局 首都圏営業部

TEL : 03-5319-2452

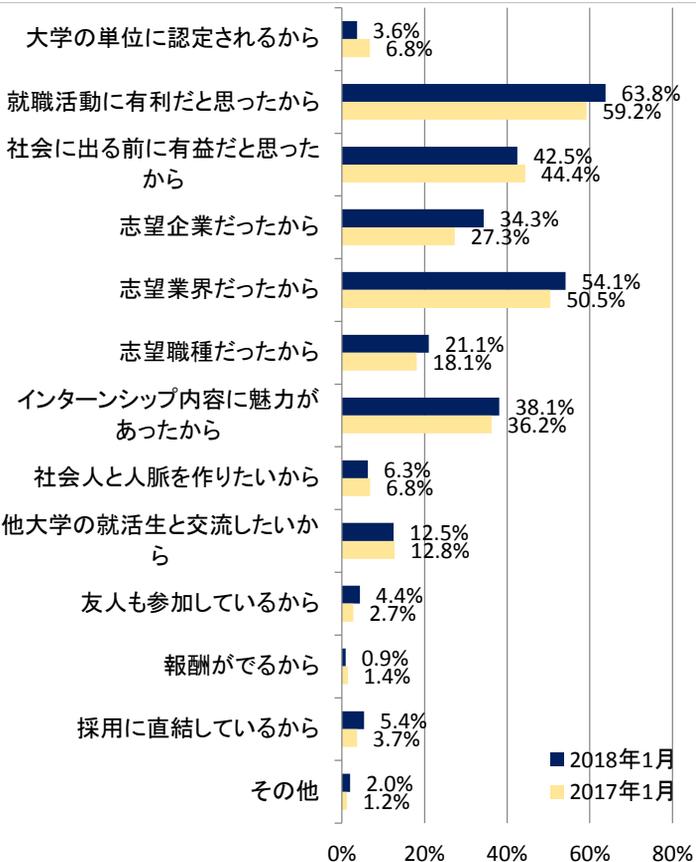
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

インターンシップ参加状況

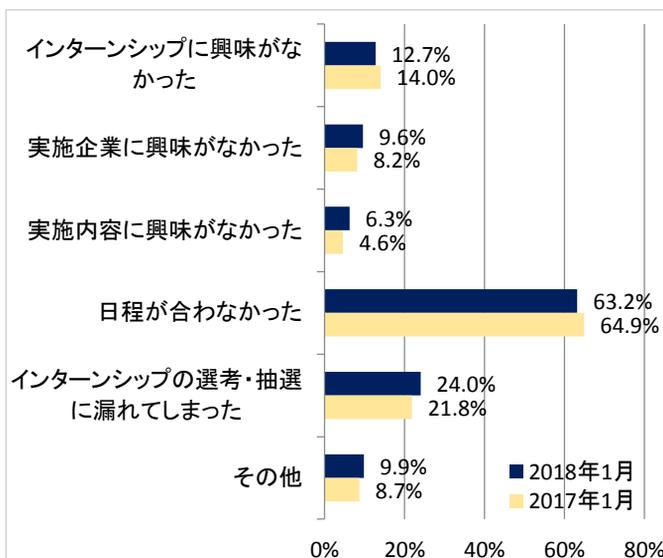
◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



◆インターンシップに参加した理由は何ですか？ (複数回答)



◆インターンシップに参加していない理由は何ですか？ (複数回答)

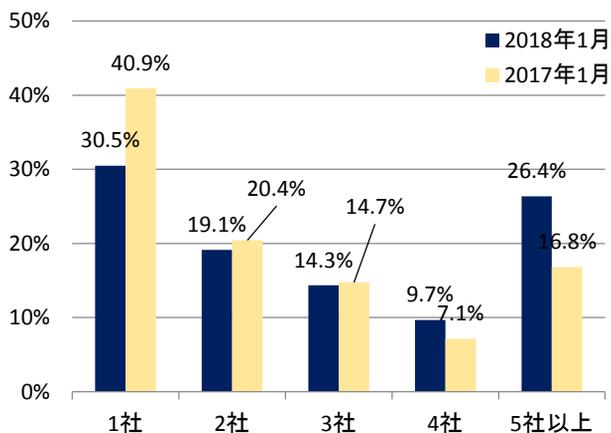


**インターンシップ参加率は65.2%。
参加の理由は「就職活動に有利」が63.8%でトップ。**

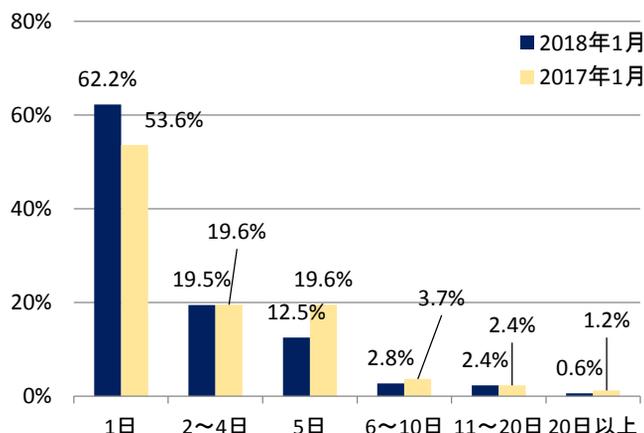
インターンシップへの参加状況は、「参加した」が65.2%、「参加していない」が34.8%となり、前年同時期調査より7.6ポイント伸ばした。

参加の理由は「就職活動に有利だと思ったから」（12月調査：58.8%→1月調査：63.8%）が12月調査と同様トップとなった。

◆インターンシップには何社参加しましたか？



◆インターンシップの参加日数を教えてください



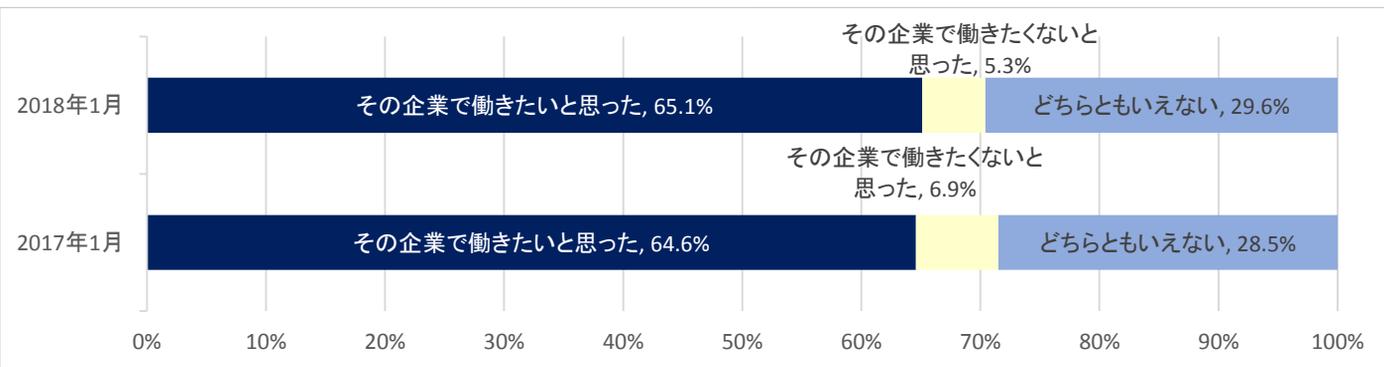
2回以上参加が69.5%。前年同時期調査から10.4ポイントも伸ばす。

参加社数は「1社」が30.5%と最も多いが、次点の「5社以上」は26.4%と、その差わずか4.1ポイント。前年同時期調査では「1社」が40.9%、「5社以上」が16.8%とその差24.1ポイントから大幅に縮めた。

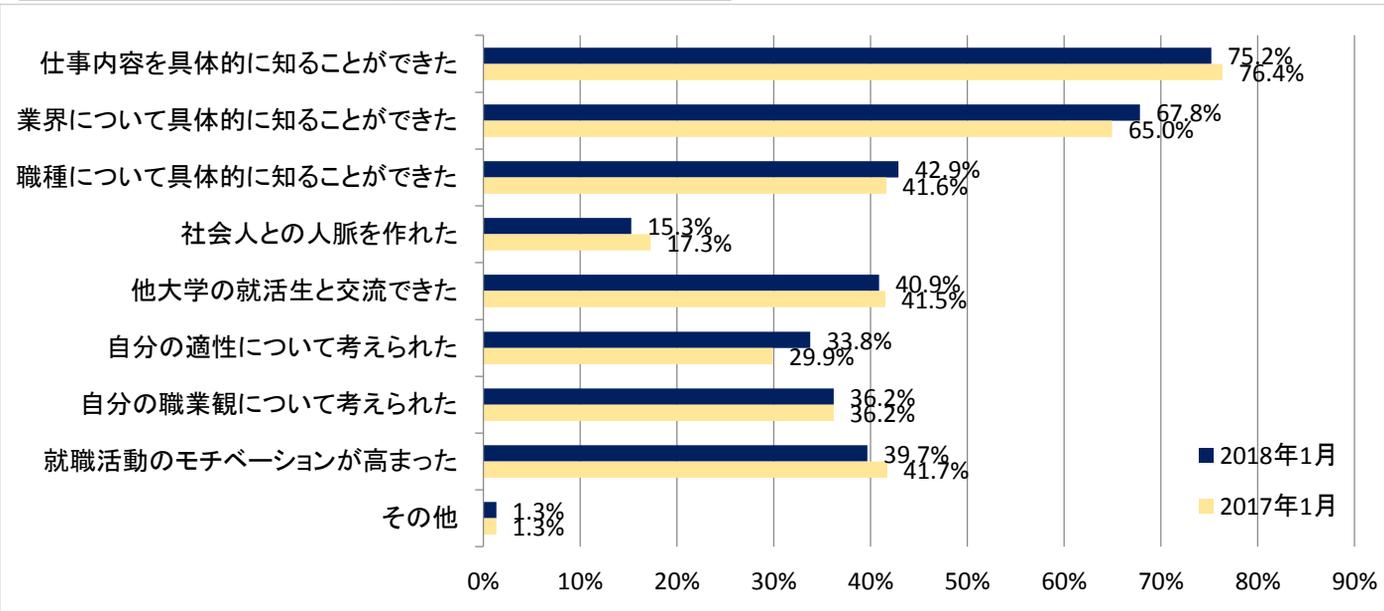
参加日数は「1日」が62.2%とトップ。前年1月調査の53.6%から8.6ポイント伸ばした。

インターンシップの感想

◆インターンシップに参加した企業への印象を教えてください



◆インターンシップに参加してよかった点を教えてください



◆後輩にオススメしたいインターンシップを教えてください（学生からのコメント抜粋）

現場に同行できたりするインターンシップに行くど「営業」という仕事に対するイメージがガラリと変わります！（いい意味で）

1dayではない、3daysや1weekなどの少し長めのインターンシップ。1dayだと知れることが少ない。

第一印象で気になるところは躊躇せず、絶対に行くつもりがない企業でも何かしらの経験が得られるので大中小企業関係なく積極的に行くといい

インターン自体に参加すると言うよりはインターンの選考を経験するべきだと思います。

自分の行きたい企業以外のインターンシップは視野が広がります

体験型のもの。セミナーみたいなのは結局自分でも調べられるし、そのうち企業説明会でも聞ける。

自分の専攻とは異なったりまたは、複数分野のインターンシップに参加してみると視野や自分の幅が広がります。

グループディスカッション形式のインターンシップはオススメです。自分の意見をしっかりと伝える練習にもなるし、なにより知らない人と会話することで自分のコミュニケーション能力を高めることが期待できます。

参加企業への印象は「その企業で働きたいと思った」が65.1%。

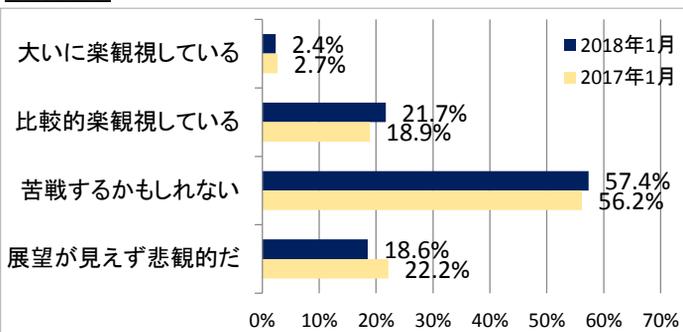
参加してよかった点は 1位「仕事内容を知ることができた」、2位「業界について知ることができた」。

インターンシップへ参加した企業への印象は、その企業で「働きたいと思った」が65.1%となり、「働きたくないと思った」は5.3%と僅かとなった。

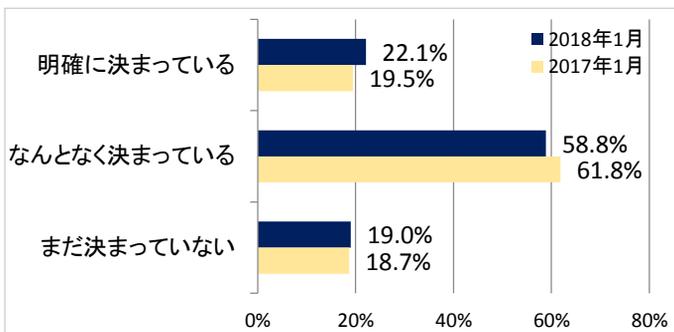
参加してよかった点は、「仕事内容を具体的に知ることができた」が75.2%でトップ。次いで「業界について具体的に知ることができた」が67.8%、「職種について具体的に知ることができた」が42.9%で続く。「自分の適性について考えられた」が33.8%と、前年同時期調査から3.9ポイントアップした。

就職活動観

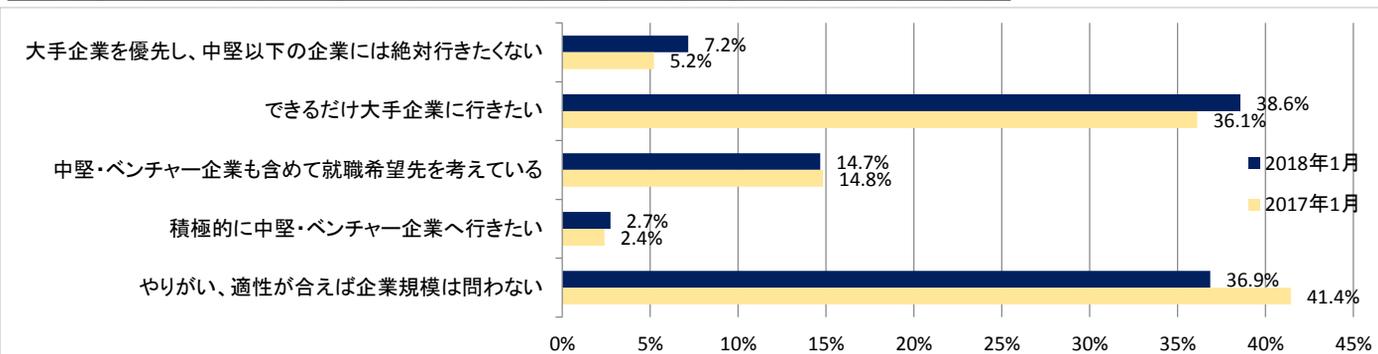
◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



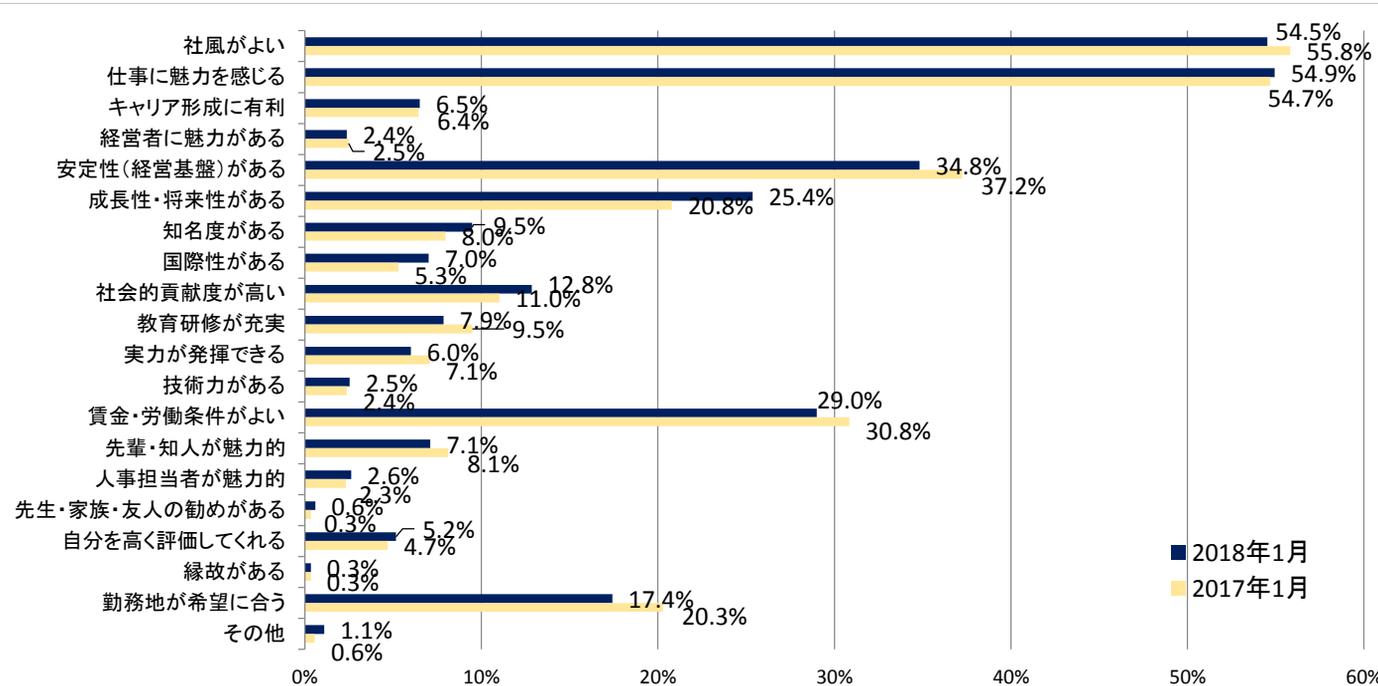
◆志望業界は決定していますか？



◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。



◆企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものをお答えください。（複数回答、3つまで）



志望業界が「決まっている」のは80.9%。

企業規模では「できるだけ大手」が38.6%とトップに。「やりがい、適性が合えば規模不問」は36.9%に。

企業規模に関して例年トップの「やりがい、適性が合えば規模は問わない」は36.9%にとどまり、「できるだけ大手」が38.6%とトップになった。「絶対大手」（7.2%）を合わせると、45.8%に上り、大手志向が上回る結果となった。

今後の就職活動における志望業界は「明確に決まっている」が22.1%、「なんとなく決まっている」が58.8%と、多数が志望を定めている様子が見える。

企業選びの基準は「仕事に魅力」が54.9%でトップ。僅差で「社風がよい」が次点につけている。「成長性・将来性がある」が25.4%と前年より4.6ポイント伸ばしたのが目立つ。